

## 研究に関するお知らせ

(研究課題名：院内コンサルテーション業務を通して発見された入院中  
COVID-19 疑似症患者の観察研究)

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院国際感染症センターでは、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんので、ご安心ください。また、認知機能が低下された方や死亡された方に関しましては、代諾者の方からの研究不参加の申し出やご相談などに対応させていただきます。

### ■研究目的・方法

国立国際医療研究センターでは、中国武漢市からの帰国チャーター便や、横浜港のクルーズ船ダイヤモンドプリンセス号からの患者をはじめ、国内流行早期より新型コロナウイルス感染者の受け入れを行い、診療を継続してきました。感染対策を徹底することで、4月17日段階では当院内で院内感染を確認しておりませんが、入院後1日以上が経ってからはじめて新型コロナウイルス感染症が疑われる患者さんもおられ、今後の感染対策において重要と考えられます。本研究では院内の感染症コンサルテーション業務を通して発見された、入院中にはじめて新型コロナウイルス感染が疑われた患者さんの特徴を調査することを目的としています。

### ■研究期間

理事長承認日～西暦2021年9月1日

### ■研究の対象となる方

2020年2月26日以降に国立国際医療研究センターを受診され、新型コロナウイルス感染症の疑いで、国際感染症センターにコンサルテーションとして紹介された成人の患者さん。

### ■ご協力頂く内容

上記の期間中に対象となった方の、診療上必要な収集された情報をもとに、入院時の症状や診断名、入院後の経過などを調べさせていただきます。

### ■外部への試料・情報の提供

研究データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。匿名化対応表は、国立研究開発法人国立国際医療研究センターでは当センターの個人情報管理者が保管・管理します。また、厚生労働省が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■利益相反について

利益相反の状況については NCGM 利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関する研究全体及び研究者個人として申告すべき利益相反の状態はありません。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■当院の研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 国際感染症センター 森岡 慎一郎

■お問い合わせ先

東京都新宿区戸山1-21-1 国立研究開発法人国立国際医療研究センター  
国際感染症センター 森岡 慎一郎  
03-3202-7181 (代表) (月～金 9:00～17:15)